

(4) 接種回数は 1 回でいいの？

12 歳以下は 2 回接種が必要（1 回目と 2 回目は 1～4 週間あける）ですが、13 歳以上では 1 回で十分免疫が得られるといわれています。わが国で接種回数についての研究が行なわれましたが、2001 年に 65 歳以上については 1 回の接種で有効とされました。しかし 13～64 歳では調査研究が不十分なため、1 回と 2 回接種が併記され曖昧な勧告になっています。しかし毎年受けていれば、1 回接種で十分と考えられます。

(5) 日常生活で気をつけることは？

早めのワクチン接種に加え、「十分な手洗い」「適度な湿度の保持（加湿器を活用しましょう）」「十分な睡眠と栄養摂取」「人ごみや繁華街への外出は最小限に」ということが予防としては重要です。

「カリウムやリンのことがあるのに、必要な栄養摂取って何？」と思われるかもしれませんが、日頃から食事内容に気を配っている方の場合、いつも通りのやり方で問題ありません。「お酒が好きで、食事内容が偏ってしまう」方の場合は、これからの季節に備えて食事の見直しをされた方が良いでしょう。

もしインフルエンザにかかってしまったら（またはそのような症状が出たら）、透析室に入る前に、受付などでその旨をお知らせください。マスク着用など、必要なお案内をさせていただきます。

(6) インフルエンザの治療薬は？

リン酸オセルタミビル（商品名：タミフル）、ザナミビル水和物（リレンザ）、塩酸アマンタジン（シンメトレル）、ペラミビル水和物（ラピアクタ）、ラニナミビルオクタン酸エステル水和物（イナビル）があります。

透析患者さんの場合、通常と異なる使い方をする場合があります。例えばもっともよく使うタミフルの場合、健常人では 1 回 1 カプセルを 1 日 2 回、計 5 日間服用するのですが、透析患者さんでは 1 カプセルを 1 回飲むだけで、5 日間にわたり有効です。

このように透析患者さんでは用法・用量での注意が必要ですので、近所の病院にかかってインフルエンザの薬が処方された場合は、透析クリニックのスタッフにもお知らせください。